

受注候補者を選定するための評価基準

(1) 1次審査の審査基準

次の参加資格を満たすことを確認する。

- ア 児童福祉関連施設への深い識見を有し、本業務と同種ないし類似する業務の実績を有すること。
- イ 府中市契約規則第34条に規定する指名競争参加資格を有すること。
(資格がない事業者は、募集要項「3 参加手続等(4) (ハ) a～e」に掲げる書類を提出すること。)
- ウ 地方自治法施行令(昭和22年政令第16号)第167条の4第1項の規定に該当しないこと。
- エ 府中市業者指名停止基準による指名停止措置期間中の者でないこと。
- オ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号の規定による暴力団等の構成員を、役員、代理人、支配人その他を含め使用していない者であること。また、法人の役員又は使用人が、暴力団又は暴力団員等との関与があると認められないこと。
- カ 提出した書類の記載事項に虚偽がないこと。

(2) 2次審査の評価基準

評価項目	評価のポイント
実施体制	配置スタッフの人数は十分か。
	主たる担当者の本件委託業務に関する経験及び実績は十分か。
業務実施方針	本市の障害福祉及び児童福祉施策に関する特徴・課題などを把握した上での提案か。
	社会福祉状況及び国、東京都の動向等を踏まえた上での提案か。
基本計画作成及び民間活力導入可能性検討調査の作業内容、スケジュール	各業務の作業項目は適当か
	業務スケジュールは適当か
整備段階から供用開始までのスケジュール提案	本市の実態に即し、適切な施設整備・運営につながる提案か
基本計画作成のためのニーズ精査・分析	精査・分析方法は、本市の実態に即し、効果的な施策展開につながる提案か
民間活力導入可能性検討調査	調査手法は、本市の実態に即し、効果的な施策展開につながる提案か
説得力、調整能力	取組意欲、積極性が感じられるか。
	分かりやすい説明か。
	資料は見やすく、分かりやすいか。
見積金額	見積金額は妥当か